

経営学科		教授	飯島 優雅	大学院の授業担当 無
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生による授業効果と内容評価の活用	2006年4月～現在	全学的に行われる学生授業評価の結果に加え、特に授業内容や教授法で学期ごとに工夫した点の効果と学生の反応を具体的に測るため、独自に評価表を作成し、その結果を参考に次学期の授業運営と補助教材作成の改善に努めている。	
2	学生の積極的授業参加を促す工夫	2006年4月～現在	毎回の授業に個人作業・ペアワークまたはグループワークを取入れ、学生同士が互いに考えを出し合い協力して問題解決に取り組む環境を作っている。このような活動を通して学生同士が知り合いになることで、より間違いを恐れずに外国語で発話できる雰囲気生まれ、好評を得ている。課題にもグループプロジェクトを取入れている。	
3	個人面談による学生一人ひとりのニーズに合わせた指導	2006年4月～現在	学期中に15分ほどの個人またはグループ面談の時間を数回設け、特に1年生には大学での生活や学習方法に関する相談を受けている。特に英語論文作成科目では、論文の校正過程において各人のニーズに合わせた細かい指導を行っている。	
4	ICTの活用による学習活動の充実を図る工夫	2010年4月～現在	学内ラーニングマネジメントシステム(LMS)Blackboard Learn © を活用し、教材・連絡掲示だけでなく、協調学習活動を行って知識理解を深め英語を実践的に使う練習をしている。例えばWikiやブログ機能を使って、グループでプレゼンテーションのアウトラインを共同作成したり、お互いの論文を読んで質問やコメントを書き込んだりしている。また、インターネットから自分で学術的なリスニング素材を選びノートを取り、内容を口頭要約する練習も行っている。対面授業ではできないことをICTを使って補強し、教室以外の学習スペースと新しい学習体験の提供の工夫をしている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	「Academic Reading Strategies」の補助教材	2006年4月～現在	読解能力を向上させるためのストラテジー一覧、要約文・言い換え文作成法などに関する自主補助教材を作成し、アカデミックな学習スキル訓練の一助としている。	
2	Dokkyo EGAP Can-do List	2009年10月～2011年3月	本学全学共通英語教育課程の共通到達目標となる能力記述文を、Reading, Writing, Speaking, Listening, Vocabularyの各スキル別に抽出し、全学生と全担当教員と共有するシステムを共同開発。全192項目。	
3	学内教科書 Speaking in Academic Contexts I	2009年10月～2011年3月	本学全学共通英語教育課程の共通スピーキング教科書を、上述のCan-do Listに基づき共同執筆。経済学部1年時必修スピーキング科目で、アカデミックスピーキングの基礎練習に利用している。	
4	「Academic Listening Strategies I」補助教材	2006年4月～現在	本学全学共通英語教育課程の1年次必修科目であるリスニング科目のカリキュラム改革に伴う共通教科書導入と共通補助教材、共通試験問題を作成。	

経営学科		教授	飯島 優雅	大学院の授業担当 無
5	「Academic Writing I-II」補助教材作成とオンライン指導ツール導入	2006年4月～現在	<p>本学全学共通英語教育課程の法学部2学科の1年次必修科目であるライティング科目の共通補助教材を作成し、担当教員間で共有するシステムを開発運用。またオンライン指導支援ツールを導入し、学生個々人のライティングに対するフィードバックの充実を図っている。</p>	
6	Dokkyo Academic Vocabulary Listと共通テスト問題	2009年10月～現在	<p>本学全学共通英語教育課程における1～2年次必修リーディング科目の共通補助教材としてアカデミック語彙リストを作成し単語テストを準備している。学生は毎週指定された語彙を自習し毎回の授業でテストを受ける。</p>	
7	共通科目「Selected Topics in Social Sciences」コース設計と教材・テスト	2015年～現在	<p>全学共通カリキュラム英語部門における3年次必修科目をICTを活用したプロジェクト型科目としてLMS上に設計。教材・テスト、科目運営情報もLMS上に掲載。</p>	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	Text Chat-based Collaborative Writing Task for Individual Students' L2 English Summary Writing Skill Development: A Design-based Study	2017年8月	<p>大学英語教育学会第56回国際大会にて、本学全カリ英語部門のライティングクラスでの英語サマリーライティング指導法(コンピューターを活用した協調学習)とその成果について報告した。</p>	
2	Bridging EGAP and ESAP: A Case of a Project-based Course at Dokkyo University.	2016年08月	<p>大学英語教育学会第43回サマーセミナーにて、本学全カリ英語部門の国際環境経済学科3年次必修科目のSelected Topics in Social Sciencesのコース設計と教育成果について報告した。</p>	
3	グローバル社会のリテラシーとしてのEGAPスキル教育—共通教育課程での実践—	2013年9月	<p>大学英語教育学会第52回国際大会にて、本学全カリ英語部門のアカデミックライティングとアカデミックリーディングのカリキュラム設計の基盤である、到達目標設Dokkyo EGAP Can-do Listをポスター発表で紹介した。</p>	
4	アカデミックスキルとしての英語教育—学資力育成のための共通教育の取り組み—	2012年3月	<p>獨協大学GPシンポジウムにて、全カリ英語が2003年度に始まってから2012年度までにおこなった教育内容改革と成果を全国からの聴衆に報告した。</p>	
5	学士力育成に資する共通英語教育の環境整備	2012年3月	<p>第18回大学教育研究フォーラムにて、獨協大学全カリ英語部門のGP事業(2009-20011年度)の取り組み内容と成果を報告した。</p>	
6	共通英語教育課程におけるアカデミックリスニング:戦略重視のコース設計の試み	2010年9月	<p>大学英語教育学会第49回全国大会にて、本学1年生の必修リスニング科目のコース改革の過程と成果を発表した。コース改革の結果、学生の認知的・メタ認知的戦略活用が向上したことが認められた。</p>	
7	Undergraduate EFL Students' Difficulty in Writing a Research Paper	2008年8月	<p>国際応用言語学会(AILA)第15回世界大会にて、日本人大学生を対象とした、英語での卒業論文執筆の過程で経験する難しさとそれに対する学生の対応を調査した結果を報告した。</p>	
8	プロセス重視アプローチによる英語研究論文指導	2007年9月	<p>大学英語教育学会にて、2年間にわたるゼミ指導と英語による卒業論文作成の指導を有機的に関連づけた実践を報告した。</p>	

経営学科	教授	飯島 優雅	大学院の授業担当 無
4 その他教育活動上特記すべき事項			
1	全学共通カリキュラム英語部門FDミーティング		左記ミーティングを毎年実施し、参加している。
2	全カリ英語部門スタッフハンドブック	2006年～	左記ハンドブックの毎年発行において、編集・執筆・改訂を担当している。
3	全カリ英語部門新任専任・非常勤教員へのオリエンテーション	2009年～	左記オリエンテーションを毎年実施し、コーディネーターを担当している。
4	平成 21 年度文部科学省「大学教育・学生支援推薦事業【テーマ A】大学教育推進プログラム」採択事業「学資力育成に資する EGAP 英語教育の充実」	2009～2011 (平成21～23)年度	立案・実施担当企画立案を担当し、全カリ英語部門代表として予定事業実施の統率を行った。 事業内容: Dokkyo EGAP Can-do List開発、英語学習サポートルーム開設、スピーキング統一教科書開発、学生ハンドブック作成、LMS(BlackBoard Learn)の導入と教員対象のワークショップ実施、Dokkyo Academic Vocabulary List開発、GPシンポジウム「アカデミックスキルとしての大学英語教育」実施
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日		活動内容	
1996年3月～2010年		TESOL会員	
2004年4月～現在		Asia TEFL 会員	
2004年4月～2016年		大学教育学会会員	
2006年4月～現在		大学英語教育学会 会員 2007年1月から2013年8月 全国大会運営委員会委員・関東支部研究企画委員(2013年から国際大会組織委員会に名称変更) 2015年4月～研究促進委員会委員 2018年第1回JAAL in JACET学術交流集会運営委員長 2019年4月～2021年3月研究促進委員会副委員長 2019年第2回JAAL in JACET学術交流集会運営委員長	
2013年3月		いわき明星大学 英語担当者FDミーティング講師	
2015年～2017年		大学英語教育学会 EAP 研究会代表	
2020年1月		目白研心中学校英語スピーチコンテスト審査委員長	
その他			

経営学科	教授	飯島 優雅	大学院の授業担当 無
<p>学内委員・役職等： 全学共通カリキュラム英語部門時間割委員(2007年6月～2010年5月) 全学共通カリキュラム英語部門教務委員(2010年4月～2012月3月) 全学共通カリキュラム英語部門代表(2010年4月～2012月3月) 獨協大学研究所情報学研究所研究委員(2011年4月～2014年3月)</p> <p>学内共同研究事業： 獨協大学国際共同研究助成(2006-07年度) Program & Staff Development: Improving Teaching(共同研究者:Tim Murphey, 浅岡千利世, 岡田圭子, Donald Freeman, Bonny Norton)</p> <p>科学研究費助成事業： 1. 科学研究費補助金(基盤研究 B)「総合研究大学における英語学術論文作成技能の育成に向けた全学共通教育のコース設計」(平成22年度～平成25年度,研究代表者:京都大学 田地野彰教授) 研究分担者 2. 科学研究費補助金(基盤研究 C)「L2 学習者リーディングモチベーション研究と読解指導モデル(認知・情意面)の構築」(平成22年度～平成24年度,研究代表者:国立音楽大学 林千代教授) 研究協力者(平成22年度)・研究分担者(平成23年度～24年度) 3. 科学研究費補助金(基盤研究 C)「英語アカデミックライティング技能育成に向けたCSCLタスク設計と指導モデルの構築」(2016-04-01 - 2019-03-31) 研究代表者 4. 科学研究費補助金(基盤研究 C)「単語の重要度に着目した適応型教材作成支援ツールの開発研究」(2017-04-01 - 2020-03-31、研究代表者:獨協大学堀江郁美教授) 研究分担者 5. 科学研究費補助金(基盤研究 B)「大学英語教育の質保証指標モデルとEAP教員コア・コンピテンシー枠組の開発」(2019-04-01 - 2023-03-31) 研究代表者</p>			